



令和4年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和4年11月14日

上場会社名 株式会社 日本抵抗器製作所
コード番号 6977 URL <https://www.jrm.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 木村 準

問合せ先責任者 (役職名) 社長室 室長 (氏名) 木矢村 隆

TEL 0763-62-8125

四半期報告書提出予定日 令和4年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和4年12月期第3四半期の連結業績(令和4年1月1日～令和4年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 4年12月期第3四半期 | 5,179 | 14.8 | 211 | 169.1 | 219 | 216.2 | 45 | 166.4 |
| 3年12月期第3四半期 | 4,512 | 9.4 | 78 | 191.1 | 69 | 113.8 | 17 | 46.4 |

(注) 包括利益 4年12月期第3四半期 189百万円 (112.3%) 3年12月期第3四半期 89百万円 (630.3%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 4年12月期第3四半期 | 37.05 | |
| 3年12月期第3四半期 | 13.91 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 4年12月期第3四半期 | 8,012 | 2,005 | 19.9 |
| 3年12月期 | 6,838 | 1,871 | 22.2 |

(参考) 自己資本 4年12月期第3四半期 1,591百万円 3年12月期 1,517百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 3年12月期 | | 0.00 | | 30.00 | 30.00 |
| 4年12月期 | | 15.00 | | | |
| 4年12月期(予想) | | | | 15.00 | 30.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和4年12月期の連結業績予想(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|-------|------|-------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 7,000 | 13.2 | 270 | 143.2 | 270 | 159.6 | 70 | 42.9 | 56.57 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 4年12月期3Q | 1,240,000 株 | 3年12月期 | 1,240,000 株 |
| 期末自己株式数 | 4年12月期3Q | 2,626 株 | 3年12月期 | 2,603 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 4年12月期3Q | 1,237,395 株 | 3年12月期3Q | 1,237,433 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載しております予測値は現時点で入手可能な情報に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因等で大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (会計方針の変更) | 7 |
| (追加情報) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、日本・欧米などの先進国経済の持ち直しが続くなか、総じて緩やかな回復が継続しました。一方で、半導体等の部品受給逼迫、ウクライナ侵攻の長期化に伴う資源価格の高騰、欧米におけるインフレ加速に伴う政策金利の引き上げ、急速に円安進行する為替相場など依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済情勢のもと、当社グループの電子部品については、コロナ禍からの回復に伴い、受注は増加傾向にあります。半導体不足の影響により、一部の電子部品で入手困難な状況が続いており、受注残が前期末と比べ増加しております。

その一方で、脱炭素社会への取り組みとして、欧州・中国市場での自動車関連向けの電子部品、産業機器市場向けの電子部品の受注拡大に努めるとともに、高い品質・高い信頼性を必要とされる市場への販路拡大を進めております。それと同時に、工程の自動化・省力化によるコスト削減、新製品の開発に努め、収益力の強化に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は5,179百万円（前年同四半期比14.8%増）となりました。

地域別の内訳を示しますと、日本国内では4,075百万円、アジアでは574百万円、欧州では510百万円、その他地域では18百万円となりました。半導体装置用電子機器や産業機器用センサーの受注が増加したことにより、売上高は前年同四半期比で増加しております。

利益面では、原材料価格の高騰、物流コストの上昇、円安による海外生産コスト上昇の影響はありますが、半導体装置用電子機器や産業機器用センサーを中心とした売上が増加したこと、また一部の製品では原材料価格等の価格転嫁が進んだことにより、粗利益率が改善し、営業利益は211百万円（前年同四半期比169.1%増）、経常利益は219百万円（同216.2%増）となりました。一方で、中国・上海で発生した4月～5月のロックダウン（都市封鎖）の影響により、当社上海工場の操業を約2ヶ月間停止しました。これにより、当該期間中に発生した固定費を新型コロナウイルス感染症による損失として計上しており、また上場会社株式で発生した投資有価証券評価損を特別損失に計上しております。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は45百万円（同166.4%増）となりました。

セグメントの業績につきましては、当社グループは電子部品の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して1,173百万円増加し、8,012百万円となりました。変動の主なものは、現金及び預金の536百万円の増加、商品及び製品の122百万円の増加、原材料及び貯蔵品の554百万円の増加であります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して1,039百万円増加し、6,006百万円となりました。変動の主なものは、短期借入金の930百万円の増加、長期借入金の95百万円の増加であります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して134百万円増加し、2,005百万円となりました。変動の主なものは、為替換算調整勘定の79百万円の増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの通期連結業績予想につきましては、半導体装置用電子機器などの受注が引き続き好調見込みであることから、売上高、営業利益、経常利益を上方修正しております。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては上海ロックダウンによる連結子会社の操業停止での特別損失の影響があるため修正しておりません。

詳細につきましては、本日（令和4年11月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (令和3年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (令和4年9月30日) |
|-------------|-------------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,415,779 | 1,952,690 |
| 受取手形及び売掛金 | 900,576 | 1,069,360 |
| 電子記録債権 | 834,696 | 774,903 |
| 商品及び製品 | 231,804 | 354,443 |
| 仕掛品 | 78,609 | 86,041 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,441,455 | 1,996,049 |
| 未収入金 | 185,040 | 73,703 |
| その他 | 24,245 | 17,300 |
| 貸倒引当金 | △35,097 | △35,902 |
| 流動資産合計 | 5,077,112 | 6,288,591 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 1,748,242 | 1,763,198 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,308,444 | 1,431,652 |
| 工具、器具及び備品 | 851,296 | 867,480 |
| 土地 | 300,006 | 300,006 |
| リース資産 | 87,273 | 73,444 |
| 建設仮勘定 | — | 308 |
| 減価償却累計額 | △3,051,785 | △3,202,566 |
| 有形固定資産合計 | 1,243,478 | 1,233,524 |
| 無形固定資産 | 13,448 | 10,840 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 225,949 | 210,029 |
| 繰延税金資産 | 143,996 | 131,656 |
| その他 | 131,982 | 136,025 |
| 投資その他の資産合計 | 501,928 | 477,711 |
| 固定資産合計 | 1,758,855 | 1,722,076 |
| 繰延資産 | 2,952 | 1,622 |
| 資産合計 | 6,838,920 | 8,012,290 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (令和3年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (令和4年9月30日) |
|---------------|-------------------------|-----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 819,572 | 903,106 |
| 電子記録債務 | 597,455 | 648,762 |
| 短期借入金 | 1,489,912 | 2,420,692 |
| 1年内償還予定の社債 | 175,000 | 20,000 |
| リース債務 | 6,398 | 3,432 |
| 未払法人税等 | 8,545 | 46,768 |
| 受注損失引当金 | 6,791 | 11,333 |
| 賞与引当金 | — | 52,759 |
| その他 | 179,935 | 147,334 |
| 流動負債合計 | 3,283,612 | 4,254,189 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 150,000 | 130,000 |
| 長期借入金 | 1,132,671 | 1,228,413 |
| リース債務 | 6,547 | 4,310 |
| 退職給付に係る負債 | 374,225 | 381,694 |
| その他 | 20,732 | 8,350 |
| 固定負債合計 | 1,684,176 | 1,752,768 |
| 負債合計 | 4,967,788 | 6,006,958 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 724,400 | 724,400 |
| 資本剰余金 | 207,448 | 207,448 |
| 利益剰余金 | 443,776 | 433,936 |
| 自己株式 | △3,793 | △3,819 |
| 株主資本合計 | 1,371,831 | 1,361,965 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,634 | 9,656 |
| 為替換算調整勘定 | 140,258 | 219,545 |
| その他の包括利益累計額合計 | 145,892 | 229,201 |
| 非支配株主持分 | 353,408 | 414,164 |
| 純資産合計 | 1,871,132 | 2,005,332 |
| 負債純資産合計 | 6,838,920 | 8,012,290 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年1月1日 至 令和4年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 売上高 | 4,512,434 | 5,179,126 |
| 売上原価 | 3,503,716 | 3,966,344 |
| 売上総利益 | 1,008,718 | 1,212,781 |
| 販売費及び一般管理費 | 930,253 | 1,001,608 |
| 営業利益 | 78,464 | 211,173 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 978 | 940 |
| 受取配当金 | 4,053 | 4,028 |
| 不動産賃貸料 | 28,068 | 28,485 |
| その他 | 9,695 | 13,897 |
| 営業外収益合計 | 42,796 | 47,351 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息及び手形売却損 | 18,863 | 19,569 |
| 賃貸資産減価償却費等 | 20,764 | 11,549 |
| 為替差損 | 6,551 | 6,182 |
| その他 | 5,737 | 1,967 |
| 営業外費用合計 | 51,915 | 39,269 |
| 経常利益 | 69,344 | 219,255 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 1 |
| 特別利益合計 | — | 1 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 151 | 84 |
| 投資有価証券評価損 | — | 22,840 |
| 新型コロナウイルス感染症による損失 | — | 44,906 |
| 特別損失合計 | 151 | 67,830 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 69,193 | 151,426 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 29,319 | 57,225 |
| 法人税等調整額 | 6,936 | 10,572 |
| 法人税等合計 | 36,256 | 67,798 |
| 四半期純利益 | 32,937 | 83,628 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 15,729 | 37,785 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 17,208 | 45,843 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年1月1日 至 令和4年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 32,937 | 83,628 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △5,625 | 4,362 |
| 為替換算調整勘定 | 62,124 | 101,917 |
| その他の包括利益合計 | 56,499 | 106,279 |
| 四半期包括利益 | 89,436 | 189,908 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 56,142 | 129,152 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 33,293 | 60,756 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりであります。

- ・当社グループが買い戻す義務を負っている有償支給取引について、従来は支給時に当該支給品の消滅を認識しておりましたが、有償支給先に残存する支給品について棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高相当額について有償支給取引に係る負債を認識する方法に変更しております。
- ・顧客から製造のために使用する原材料等の支給を受け、加工を行ったうえで顧客に売り戻す有償受給取引について、従来は原材料等の仕入価格を含めた総額で収益を認識しておりましたが、加工代相当額のみを純額で収益を認識する方法に変更しております。
- ・従来は営業外費用で計上しておりました売上割引について、売上高から控除する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,695千円、売上原価は7,043千円、営業外費用は1,429千円、営業利益は1,652千円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は222千円それぞれ減少しております。なお、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 令和元年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 令和元年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、当第3四半期連結会計期間においても変更は不要と判断しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループ(当社及び連結子会社)は、電子部品の製造・販売及び付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。